



地域とともに歩み、  
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校

校報 第131号

(学校再開特別号)

令和2年(2020年)4月8日

文責：校長 法山由紀子



## 令和2年度スタート そして、学校再開

3月2日の臨時休業開始から1カ月あまりを経て、このたび学校が再開されることになりました。新型コロナウイルス感染症は全国でも県内でもまだ拡がりの様相を呈しておりますので、感染症対策に万全を期しながらの再開です。

それでも、子どもたちとの出会いがこんなにもうれしいものなんだと改めて実感しています。この思いを大事にしながら、令和2年度、61名の新入生を含め、411名のいしべっ子たちの「えがお」あふれる学校をめざし、教職員一同精一杯力を尽くしてまいります。

**「やる気いっぱい! やさしさいっぱい! ゆめいっぱい! ~「ふるさといしべ」から「えがお」発信~」**

### 「わたしがえがおになるために! だれかをえがおにするために!」

昨日、新6年生が、広い体育館や1年生の教室を新入生を迎えるために、心をこめて準備を整えてくれました。おかげで、新入生は「えがお」で入学式を迎えることができました。会場で迎えた6年生も「えがお」でした。

今、わたしが何かをすること。それは誰かの「えがお」につながっている。そんな思いで行動できる子を育てていきたいです。

「わたしから元気にあいさつ」「こころをこめてだまってそうじ」など、誰かを「えがお」にするいしべっ子のすてきな姿がご家庭や地域のみなさんにも届くといいなと願っています。



## 学校再開!! 「新型コロナウイルス感染症」に係る対応について

最大の配慮をしながらの再開ですので、今まで「当たり前」にやってきたことが当たり前でなくなるのが想定されます。何よりも子どもたちの「いのち」、またご家族の「いのち」を第一に考えて対応してまいりますので、どうかご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

感染症対策に万全を期すために、三つの条件（換気が悪い密閉空間・人の密集・近距離での対話や発話）**＜密閉・密集・密接＞が同時に重なる場を避ける**ことに特に気をつけていきます。

さまざまな教育活動において、**3つの「密」を作らない配慮**をしたうえで、これがクリアできない場合は、実施を見合わせたり、代替案を考えて行ったりします。

例えば、当面（1学期をめぐり）、バスを使用する校外学習、また、施設の訪問については実施を見合わせます。また、「家庭訪問」や「PTA総会」も今年度は行わず、他の方法でその目的を果たしていきたいと考えています。さらに、4~5月いっぱい、学習参観は行わない予定です。

今後の詳しい予定につきましては、各学年から発行される通信やタウンメールにて連絡をしますので、ご承知おきください。

このように、「当たり前にはできない」状況がさまざまに想定されますが、「いのち」を優先に教育活動を考えて進めていきます。何とぞご理解いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。